

学習課題(小学校3年生)



【社会】

〈学習内容〉

◆これまでの学習について取組シートなどをもとにふり返りましょう。

(1) 下の()にあてはまる言葉を からえらび、書きこみましょう。

「店ではたらく人」

- ・スーパーマーケットでは、つねに ① () のよいものを売り場にならべるように気をつけています。
- ・買う人のねがいにこたえられるように、くふうや努力をしており、店によって、さまざまな ② () があります。
- ・スーパーマーケットでは、品物売るだけではなく、地いきの人々に役に立つように ③ () をしています。



高い	品質	サービス	地いきこうけん
----	----	------	---------

「農家の仕事/工場の仕事」

◆「農家の仕事」

- ・札幌で玉ねぎづくりが始められ、さかんになったのは今からおよそ ① () 年前のことです。
- ・春と ② () に雨があまりふらなく、 ③ () でも夜はずずしいという札幌の気こうや、土がやわらかく、えいよう分をおおくふくんでいるふしこ川のまわりが玉ねぎづくりに合っていました。
- ・札幌の玉ねぎ畑は、平成のはじめころ(およそ30年前)にくらべると3分の1にへってしまいました。しかし、全国でも人気の玉ねぎの品しゅである ④ () をふたたびづくり始める農家もふえてきました。



◆「工場の仕事」

- ・札幌にあるラーメン工場では、食べ物をつくっているため、 ⑤ () にはとくに気をつけています。
- ・いつも仕事を始めるときには手をきれいにし、 ⑥ () しています。
- ・めんはれいぞう庫で、 ⑦ () させてから店に運びます。

15	150	夏	秋	冬	札幌黄
研究	消どく	じゅくせい	えい生		



「火事からくらしを守る」

- ・火災現場に行ってもすぐに消火活動ができるように、水を出す
(① くんれん)や、はしごをのぼして人を救出する
(② くんれん)などを日ごろから行っています。
- ・市内で起きた火事の知らせは、119番の電話などで、
すべて(③ しょうぼうし)につながります。
- ・消防団は、市内(④ くわん区)すべてにあります。地いきごとに72
の分団があり、全部でおおよそ(⑤ にん人)の団員がいます。
- ・市民が防災に関心をもつように、町内会の(⑥ くんれん)を
すすめる活動も行っています。



<small>ひなん</small> 避難	<small>きゅうじょ</small> 救助	<small>しょうか</small> 消火	<small>ごうどう</small> 合同	<small>けんさ</small> けんさ
8	10	1700	<small>しょうぼうしれいかん</small> 消防指令管制センター	

「事故や事件からくらしを守る」

- ・けいさつ本部通信指令室へつながる電話番号は(① ほんぶつうしんしれいしつ)番です。
- ・交通事故が起きたとき、通信指令室では、指令を出すだけではなく、交
通かんせいセンターや(② けいさつ)へもれんらくします。
- ・交通安全運動のときには、(③ けいさつ)の人たちとも協力して
交通安全をよびかけています。
- ・けいさつの人(④ けいさつ)でパトロールしたり、地いきの人と
(⑤ けいさつ)したりしながら(⑥ けいさつ)を守っています。

119	・	110	・	消防しよ	・	地いき
協力	・	消防車	・	パトカー	・	安全



(2) 下の地図記号は何を表しているのでしょうか。調べて書きましょう。



<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・2学期の学習のまとめとして出題しています。学習したことを振り返るとともに、自分たちの生活とのつながりを考えることで、確かな力として定着します。